

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立深江小学校

令和8年4月

大阪市立深江小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校を取り巻く教育環境は大きく変化しており、いくつかの重要な課題が顕在化している。まず、教員は学級経営や授業準備に加え、生活指導や個別支援など多岐にわたる業務を担っており、教員の疲弊感が年々強まっている状況が見られる。その影響もあり、十分な時間をかけて子ども一人一人と向き合うことが難しくなっている現状がある。一方で、子どもたちの様子を見ると、自ら考え行動するよりも指示を待つといった受け身的な姿勢が目立つ場面が増えている。学習に関しても主体的な学習姿勢の定着が喫緊の課題であると考えている。さらに、不登校傾向にある児童の増加は深刻な課題であり、学校生活への不安や人間関係のつまづきなど、背景は多様化している。加えて、「学校が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合が必ずしも高いとは言えず、学校が子どもにとって安心して過ごせる、魅力ある場となっているかを改めて問い直す必要がある。これらの課題を踏まえ、教職員が互いに支え合いながら、子どもが主体的に学び、安心して通える学校づくりを進めていくことが求められている。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

(1) 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7年度75.6%)

※R11年度末目標は87%

(2) 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R8年度初項目)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(1) 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。(R7年度73.1%)

(2) 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

(R7年度 85.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

(1)小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R8年度初項目)

※R11年度目標80%

(2)教職員の各月の時間外勤務時間が 30 時間以上になる月を0%にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立深江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 (1) 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7年度75.6%) (2) 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R8年度初項目)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ●いじめを許さない学校文化を醸成する。 ・いじめ対応に係る「 <u>振り返りチェックシート</u> 」におけるいじめ対応を行う。 ※小学校フォルダ内に格納	
指標 ・いじめ対応に係る「 <u>振り返りチェックシート</u> 」におけるいじめ対応を行っているとは回答する教員の割合を90%以上にする。 ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を昨年度を上回るようにする。(R7年度80.6%)	
取組内容②【基本的な方向1 豊かな心の育成】 ●様々な違いについて正しく知り、その良さを認め合う取り組みを進める。	
指標 ○5月、10月、2月に校内児童アンケートを実施し、(全学年「自分のことを友だちにわかってもらい、友だちのこともよくわかっていますか」)で肯定的回答をした児童の割合を増やしていく。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ●不登校や問題行動等の事象の早期発見と早期対策を講じる。	

・児童理解連絡会（スクリーニング会議Ⅰ）で情報共有し、必要に応じて「校内不登校対策委員会」や等で対応について協議を行う。（効果的な校内組織対応） ・区役所（子育て支援）や子どもサポートネット、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携を図る。（外部組織との連携）	
指標 ○教員アンケートにおいて、「子どもの情報をチームで共有し対応について協議を行うことができた」項目で肯定的な回答率を８０％以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析（中間評価）
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立深江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 (1) 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。(R7年度73.1%) (2) 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(R7年度85.3%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ●聞き手の役割を重視した対話を取り入れた授業を進める。 ●「主体的な学び」ができるように、教材教具、発問を工夫した授業を進める。	
指標 ・教員アンケートにおいて、全授業の8割以上で「対話」を取り入れた授業を行ったと回答した割合を80%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ●体育学習で体を動かすことの楽しさ味わわせる。 ●体育部、委員会等で運動紹介や運動の啓発、カードを使った取り組み等を企画して、体を動かすことが楽しいと感じられる取組をおこなう。 ●毎学期の健康習慣で「1日1回以上外遊びをした」という項目を追加して、運動の啓発を図る。	
指標 ・校内児童アンケートの「ほぼ毎日少しでも体を動かすこと（運動）をおこなっている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析（中間評価）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立深江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 (1) 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R8年度初項目) (2) 教職員の各月の時間外勤務時間が30時間以上になる月を0%にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ●デジタル機器を使った人権問題に係る「情報モラル教育」（デジタルシチズンシップ教育）を計画的に進める。 ・情報倫理、法の遵守、安全への知恵、セキュリティ、ネットワーク社会の一員としての責任などについて学習する。 ・全学年学期1回の実践を進める。	
指標 ・自校作成の情報モラル問題10問で8問以上正解する児童の割合を90%以上にする。(今年度初めて)	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ●年休・時休合わせて年間10日以上取得することを進める。	
指標 ・長期休業期間以外に年休・時休合わせて、 <u>5日以上</u> 取得する教員の割合を90%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析（中間評価）

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

